

大学敷地の樹木による日照障害等を改善してほしい

〔相談の要旨〕

大学敷地内の樹木が繁茂しているため、大学敷地の西側境界に近接する自宅には、常緑樹のために朝日が当たらない上、風雨のたびに落葉等の被害に悩まされている。

私たちは高齢となり、毎年、大量の落葉を処理することが年々困難となってきた。

また、足腰が弱ってきたため、油脂成分の多い銀杏の落葉を処理する際には、滑って転倒しそうになる。来年は、体力的にも落葉の処理等を十分に行うことができそうにない。

大学の敷地西側の境界付近の樹木を剪定してほしい。

〔相談の結果〕

大学の西側境界沿いの樹木剪定について相談を受けた行政相談委員が現地を確認したところ、大学敷地の境界に沿って植樹されている樹木が繁茂し過ぎているため、大学の西側境界に近接する住宅約 30 棟に日照障害又は落葉被害を与えていることを確認した。

行政相談委員は、この樹木群には大学の歴史的景観を構成する並木が含まれているものの、このままでは大学敷地の西側境界に近接する住宅の日照障害等が解消されないと判断し、大学に対し敷地の西側境界付近の樹木を剪定するよう依頼した。

その結果、大学は、大学敷地の西側境界付近の樹木を剪定した結果、同大学敷地の西側の境界に近接する住宅群における日照障害が解消され、落葉被害が抑制されるとともに、大学の歴史的景観を構成する並木も併せて剪定したため、地域住民から大変喜ばれている。

【剪定された樹木等】

